

# 銀行とパーキング業界双方に 自転車活用推進法が恩恵をもたらす

味岡桂三

株式会社東京TYフィナンシャルグループ 代表取締役副頭取  
株式会社新銀行東京 取締役

代表取締役社長

森井博

『自転車・バイク・自動車駐車場 パーキングプレス』誌 発行人

### 【プロフィール】

味岡 桂三（あじおか けいぞう）  
昭和56年大阪大学法学部卒業後、日本銀行入行。大分支店長、金融機構局参事役、金沢支店長等を経て平成23年株式会社東京都民銀行入行、執行役員。日本橋支店長、常務取締役、専務取締役を経て、平成28年4月より現職

駐車場、駐輪場に関連する機器メーカーや運営会社、識者、監督官庁の方々をゲストに招いてきた本対談では、初の金融機関トップの登場である。

味岡社長が率いる東京TYフィナンシャルグループと私たちとの関わりは深い。同氏が代表取締役副頭取を務める東京都民銀行は、長年、パーキング業界の根幹を支える中小企業の支援を続けてきたからだ。実際、弊社も創業当時の再開発振興株式会社時代から多大なサポートを受けている。同行なくして、2017年に創業40周年を迎えることはできなかったと言っている。

そうした背景もあることから、味岡氏に本対談登場の打診をしたところ、快く了承をいただくことができた。改めてパーキング業界の中小企業支援や、それに付随する銀行と都市交通の関係などをうかがった。(対談収録：2017年10月11日)

## 本年5月1日の3行合併で「きらぼし銀行」が誕生 資産規模は約5兆6,000億円に

**味岡** 本日はパーキングプレス対談にお招きいただき、ありがとうございます。サイカーパーキング様には、特に東京都民銀行の日本橋支店がお世話になっております。私も日本橋支店長を務めていたこともあり、深いご縁を感じております。

**森井** こちらこそ長年お世話になり、ありがとうございます。まずは御行の沿革から教えていただけますか。

**味岡** 東京都民銀行が開業したのは昭和26年です。当時の東京商工会議所や東京都が、戦後復興期のなかで全国で最も中小企業が集積している東京には、地域の銀行が必要であろうと考えたことが東京都民銀行誕生の背景になっています。以来、いわば「東京の中小企業の応援団」として業務を継続してまいりました。サイカーパーキング様は東京都民銀行の歴史のなかでも比較的早い段階からお世話になっている会社のひとつであり、現在は

都市交通のインフラを担う会社になられているということで、支援をさせていただいてきた私どもとしても、まさに銀行冥利に尽きると考えています。

**森井** こちらこそ改めて御礼を申し上げます。ところで今年5月1日より、東京都民銀行と八千代銀行、新銀行東京の3行が合併し、「きらぼし銀行」として再出発することが既に公表されています。銀行で外回りをされる方というと、移動手段は大きなカゴを付けた自転車、あるいはバイクが定番です。まして主に地元の企業を支援されている御行では合併後も変わることなく、自転車が有効な足になるのではと推察します。

**味岡** おっしゃるとおりです。実はこの対談に先駆けて3行合併後の自転車やバイクの台数がどうなるかを調べたところ、自転車は約700台、バイクは約500台、合わせて約1200台を保有することになると分かりました。3行合わせて160以上の支店があり、1000名以上の行員が得意先まわりのために自転車、バイクを使って仕事をするようになります。

**森井** 改めて、行員の皆さんが外回りで自転車、バイクを使う利点は何でしょうか。

**味岡** やはり小回りが利き、フットワークが良く、仕事を円滑に進めやすいということでしょう。日本橋支店長時代、私は主に車で移動していましたが、時々担当の若い

行員と一緒に日本橋、銀座、築地の界隈を自転車でもわることもありました。渋滞にはまってお客様との約束時間に遅れるリスクありません。パーキング業界を支援する銀行としてはもちろん、自転車、バイクの利用者としても、パーキング業界とは密接につながっていると考えております。

**森井** 私の自宅がある町田市にも東京都民銀行、八千代銀行の支店がありまして、時々、営業の方が自転車やバイクで得意先回りをされているシーンをお見受けします。合併後は「きらぼし銀行」に統一されて、雰囲気も新たに仕事を継続されることと思います。「きらぼし」の由来について教えていただけますか。

**味岡** これは行員に公募を行い、外部の専門家の意見も参考にしまして最終決定したものです。東京圏のお客様の夢を一段と明るくきらめかせたい、という願いや、お客様の思いを私どもが預かり、それを力強くつないでいく、といった考えを込めたものです。

**森井** 非常に良いお名前ですね。

**味岡** ありがとうございます。合併によって資産規模が約5兆6,000億円となり、東京都に本店を置く地域銀行としては最も大きな銀行となります。支店は東京都と神奈川県、さらには埼玉県、千葉県の一部に展開しています。これからは首都圏における中小企業、個人のお客様



かつて支店長を務めた東京都民銀行の日本橋支店の前で。自転車の機動力は銀行業務に欠かせないという味岡氏



のための金融機関として、総合金融サービスを通じて地域社会に貢献することを経営理念に置き、努力を続けて参ります。

## 「緑の下の力持ち」として パーキング業界を支援する

**森井** 御行とは40年以上にわたってお付き合いをさせていただいているわけですが、弊社を含めてパーキング業界全体への期待や希望などはありますか。

**味岡** 先ほども少し触れましたが、都市交通の担い手は行政機関や交通機関だけでなく、パーキング業界の各企業、さらにはさまざまな交通機関の車両などの部品

をつくる製造業、あるいはその部品のメッキを行う塗装工場など、多くの中小企業も欠かせないと認識しています。

**森井** おっしゃるとおりです。

**味岡** 私どもは地域銀行として、そうした多くの中小企業のお客様に対して資金の支援を行うのはもちろんのこと、ビジネスマッチング、そして今、特に注力しているコンサルティングなどさまざまな角度から総合的な金融サービスをご提供し、「緑の下の力持ち」となっていきたいと考えております。

**森井** それは力強いお言葉です。駐車場、駐輪場の業界は一部の大手企業を除き、残りはほとんど中小企業によって構成されています。例えば私が理事長を務めている、コインパーキングに関するビジネスに携わる企業団体の日本パーキングビジネス協会(JPB)にはおよそ130の会員企業が参画しており、そのほとんどが中小企業です。

**味岡** そうでしたか。

**森井** 以前、JPBが主催して、オーストラリアにコインパーキングの視察旅行に行きました。そこで驚いたのが、現地でもスマホを主な手段とした駐車場予約システムが広く普及していることでした。キャッシュレスはもちろん、利便性にも優れておりまして、その進化は目を見張るものがありました。私たちはかつては日本が世界に冠たるパーキングシステムを構築してきたと自負していましたが、それは誤認で

あり、日本はオーストラリアに20年は後れをとってしまった…と深い自責の念にかられたわけです。帰国後、その失われた20年を取り戻すため、JPB全会あげてコインパーキングでのIT活用のための情報収集や研究を進めております。ぜひ御行からも支援いただければ幸いです。

**味岡** 承知しました。検討させていただきます。また、私どもは地域銀行として首都圏の不動産などの情報も多く保有していることから、駐車場、駐輪場に適した土地の情報をご提供するビジネスマッチングにも取り組んでいます。資金面だけでなく情報面でも貢献させていただくことができるというわけです。

**森井** それは良いですね。良質な物件があればぜひ優先的にサイカパーキングに教えてください(笑)。冗談は措いておきまして、そういえば最近、銀行が絡んだ駐輪場としてこんな案件が増えています。例えば駅前の便利な場所に支店をもつ某銀行なのですが、店舗前の駐輪場が、その支店を利用するお客様と、駅や近隣の商業施設を利用するお客様、それぞれの自転車が混在し、安全や景観などの面で問題になっていました。そこで当社がその駐輪場の整備を行い、本来の銀行利用のお客様には専用のトークンを利用させていただくようにし、一方、銀行のお客様でない方の自転車駐輪用の精算機やラックを導入しました。結果、2種類のお客様が共同利



2016年5月27日 東京国際フォーラムにて開催された「TOKYO TY ビジネス交流展2016」。東京TYフィナンシャルグループの取引先や東京都などが出展した展示・商談会。155の企業・団体が出展、7,000人以上が来場。東日本大震災の復興応援イベントも行った

用できるようになり、雑然としていた駐輪場が美しく生まれ変わったのです。

**味岡** なるほど、それもひとつの地域貢献の在り方ですね。

**森井** はい。駐車場、コインパーキングでも同様の案件があり、銀行支店に用事があるお客様とそうでない方が利用できるようなシステムをつくりました。また、銀行の場合は窓口が空いているのが一般的に15:00までですから、それ以降の時間帯は駐車場利用者が減り、空室が増える傾向にあります。それを有効活用するため、一般のお客様も利用できるコインパーキングをつくるケースもあります。

**味岡** 自転車、バイク、自動車といった移動手段そのものはもちろん大切なのですが、それらを停める場所をネットワーク化することで、都市交通はより円滑になっていくと考えているのですが、このような理解でよろしいでしょうか？

**森井** おっしゃるとおりです。コインパーキング、あるいはシェアサイクルのポートがどこに配置されているかによって自動車、自転車の移動のしやすさ、利用率には大きな差が出てきます。また、そもそも自転車、バイク、自動車、いずれも走っている時間よりも停まっている時間の方がはるかに長いだけに、停める場所の品質も大切です。

**味岡** なるほど、そのとおりですね。

もそのひとつですし、事業承継、M&Aなども手掛けております。また、東京の地元銀行として行政との連携を深める観点から、2015年9月に東京都との間で「産業振興に関する包括連携協定」を締結致しました。

**森井** その協定はどのような内容なのでしょう。

**味岡** 東京都は行政の立場から中小企業振興を行い、私どもは中小企業を支援する金融機関として、お互いタイアップしていきましょう、という提携です。私どもが日々接している中小企業のお客様から得た都行政に対するさまざまな要望を都に伝え、それを政策立案時の参考にしていただくことも含まれています。

**森井** 日々1000名以上の行員が動き、さまざまな中小企業の声を得られる御行ならでの仕事ですね。

**味岡** ありがとうございます。また、東京都の関連機関との協働としては、都内中小企業の総合支援団体である「東京都中小企業振興公社」、中小企業の技術支援等を行う「東京都立産業技術研究センター」、ハローワークの東京版ともいえる「東京しごと財団」、産学連携を目的とした首都大学東京なども提携致しました。金融機関としての金融支援はもちろんですが、経営や技術技能、雇用などの面でもトータルにサポートできる体制が整備されたことで、お



お客様のさまざまな経営課題の解決のお役に立てればと考えています。

**森井** なるほど、従来の銀行の業務の枠を越えた、まさに総合的な金融サービスですね。先ほど申し上げたJPBはほとんどの会員が中小企業であり、皆それぞれに経営に関する悩みを抱えています。また、事業承継の問題でM&Aを検討している企業もあります。JPBでは年数回のペースで研修会を開いていますので、可能ならきらぼしコンサルティングの担当者様に講師として登壇いただき、JPB会員企業が抱えている課題のソリューションなどを教えていただけると助かります。

## 銀行業務の枠を超えた総合的金融サービスで貢献

**森井** ところで先ほど、味岡社長がおっしゃった土地情報のビジネスマッチングについては、コンサルティング会社を立ち上げられているのですよね。

**味岡** はい。2017年4月にひと足早く「きらぼし」の名を冠した「きらぼしコンサルティング」という会社を設立致しました。その会社ではお客様が抱えるさまざまな経営課題に対するコンサルティングを行っております。ビジネスマッチング



2017年9月19日に移転、業務を開始した東京・南青山にある東京都民銀行本店。合併後の「きらぼし銀行」の本店となる。屋上には環境配慮の観点から太陽光発電用パネルを設置。発電量は3.74kw。本店で使用する電力の一部に充当されている

**味岡** そうですね、外部提携している機関にも声をかけて実現するよう検討してみたいと思います。私どもには約28,000社の法人のお客様がおり、多様な案件に触れておりますので、その経験を活かしてお役に立てることがあるかもしれません。また、私どもは2016年から2017年にかけて、関西の地銀グループである「池田泉州ホールディングス」、宮城県・山形県を拠点にする「じもとホールディングス」とも提携を致しました。したがって場合によっては首都圏を越えた展開も視野に入れることができます。私どもがいわば「ハブ」となって、地方の銀行グループとネットワークを形成することで、お互いにウィンウィンの関係を築くこともできると思います。

**森井** それは良いお話ですね。JPBは現在、九州、関西、北海道に支部がありますし、ゆくゆくは中部や四国にも支部を展開していきたいと考えていますので、事業承継、M&Aに関する課題も新たに出てくるかと思えます。その節にはぜひお知恵をお貸しください。

**味岡** 承知しました。こちらこそよろしくお願ひ致します。

## 本店がある街・青山で 自転車プレゼンスの向上を実感

**森井** もうひとつ、パーキング業界に関連した最近の話題に「シェアサイクル」があります。都心の主要区では相互乗り入れができるシェアサイクルが運用されていまして、利便性の高さから少しずつ認知度が上がっているのですが、その運営はすべてNTTドコモの傘下にあるドコモ・バイクシェアという会社が担っています。さらに札幌では中国の企業が運営する「モバイク」というシェアサイクルが稼働しており、これにはメッセンジャーアプリ大手のLINEが提携を発表しています。そんなわけでシェアサイクルも今、非常にホットな市場になっていますので、あるいは御行のビジネスチャンスがあるのかもしれません。

**味岡** 中国といえば、私どもは上海にコンサルティングを行う現地法人があり、先日私は出張でそこへ行ってまいりました。滞在中、上海のシェアサイクルを目の当たりにしまして、利便性の良さや手軽な料金設定に驚きました。現地法人のスタッフもよく利用しているそうです。

**森井** なるほど。それもおそらく先ほど申し上げたモバイクかもしれません。上海でもサービスを展開していますからね。

**味岡** 話を転じて私どもの本店がある、ここ青山なのですが、この界限も先ほど森井会長がおっしゃったシェアサイクルでしょうか、さらにはほかにも自転車で移動している方をよく見かけます。青山で仕事をするようになってから、東京の都心でも自転車のプレゼンスが上がっていることを実感しています。

**森井** 特に青山エリアは自転車への関心が高い街だといえますね。この近辺にかけてはドコモさんが運営している区のシェアサイクルとは別に「コギコギ」という民間のシェアサイクルもよく見かけますし、住宅街のなかには、自転車カルチャーを発信するユニークなカフェもあります。

## 自転車を取り巻く環境の変化が ビジネスチャンス拡大を導く

**味岡** 自転車の街といえば、私が日本銀行の支店長として赴任した金沢を思い出します。在任中、自転車で金沢の街を駆け巡ったものです。



味岡氏は日本銀行に勤めていた平成21年6月に金沢支店の支店長として同地に赴任した。金沢は森井発行人の故郷でもある。シェアサイクル「まちのり」が公共交通として定着するなど、パーキング業界にとって縁のある都市だ(写真提供：金沢市)

**森井** そうだったんですか。金沢は私の故郷であり、私にとっても思い出深い土地です。

**味岡** 私が金沢で感じたのは、自転車はその街の空気感を手っとり早く知ることができる、格好の移動手段だということでした。車は速く広範囲を移動できますが、空気感までは分からない。徒歩は空気感は分かりますが、移動できる範囲が狭い。しかし自転車なら双方の課題を解決できます。もちろん環境に優しく、健康増進に役立ち、渋滞緩和にも貢献するなどほかにもメリットはあるわけですが。

**森井** では最後に自転車に関連した話題でお聞きしたいのが、2017年5月に施行された自転車活用推進法についてです。自転車に関連した環境がさらに向上し、パーキング業界にとっても追い風になるのは間違いないのですが、ひいては、御行にとってもプラスになる法律ではないかと考えています。自転車活用推進法に対するの期待感など教えてください。

**味岡** この法律が施行されたことで、自転車の位置づけが変わってくると思っています。まず、多くの行員が自転車を利用して



対談は東京都民銀行本店の応接室で行った。味岡氏は、自転車活用推進法の詳細、自転車一台に使われている部品数や製造企業の実態など我々の業界に関してもさまざまな知識をお持ちだった

いるというユーザーの目線から申し上げますと、安全で快適な自転車レーンなどが増えるのは大いに歓迎できます。次に銀行としての立場からはビジネスチャンスの拡大に期待できると思います。以前ある人に、一台の自転車はおよそ1,000個の部品できているのだと聞いたことがあります。最終的な組み立ては大手企業がやられているのですが、各部品の製造や磨き、メッキなどの工程はほぼ中小企業によって支えられていると思います。自転車活用推進法が浸透することで自転車産業が盛り上がり、

そうした企業の方々のビジネスの範囲が広がれば、私どもも地銀として資金面、情報面でサポートする機会も増えてくるのではないのでしょうか。

**森井** 分かりました。本日はコインパーキングやシェアサイクル、自転車活用推進法など想定以上に幅広い話題についてうかがうことができ、充実した60分となりました。今後とも我々の業界の核となる中小企業サポートを通じて、ご支援をいただければ幸いです。本日は誠にありがとうございました。 **PP**

【パーキングプレス 発行人】 **森井 博** のプロフィール

- 一般社団法人 日本パーキングビジネス協会 理事長
- 一般社団法人 自転車駐車場工業会 会長
- 一般社団法人 日本シェアサイクル協会 専務理事
- 東京八重洲ライオンズクラブ 会員
- 六本木男性合唱団 団員
- サイカパーキング(株)、日本駐車場救急サービス(株)、モーリスコーポレーション(株) 夫々代表取締役CEO

**【略歴】** 1938年(昭和13年)宮崎県延岡市生れ79歳。  
 1957年(昭和32年)石川県立金沢泉ヶ丘高校卒  
 1961年(昭和36年)東京商船大学(現東京海洋大学)卒  
 1961~1979年 石川島播磨重工業(現: IHI)  
 1979~1991年 東芝  
 1991年~ 現職

**【趣味】** 現在: ゴルフ・車・自転車・歌・仕事  
 過去: 水泳・野球・陸上競技・テニス

**【遍歴】** ゴルフ: 毎週1回ホームコースでラウンド、週1~2回練習場通い。  
 車: 毎日通勤で運転。中古車3台を大切に乗り廻す。  
 自転車: マツダレベル、ブリヂストンモルトン、プロンプトン他数台保有するも年齢を考え乗り廻さない。  
 歌: 六本木男性合唱団でロクに楽譜も読めないのに毎週練習に励む。  
 仕事: 健康のため平日は毎日9:00~17:00出勤、社員に迷惑をかけている。但し、土、日、祝日は絶対に出勤しない。  
 水泳: 漁港で漁師の子供達と一緒に育ったため、小学校に入る前から泳ぎは得意。ちなみに小学校の名前は延岡市立港小学校。  
 野球: 中学生までは本気でプロになるつもりであった。元西鉄ライオンズ 故・稲尾和久投手、完全試合投手 田中勉、元巨人 淡河弘捕手は友人。元巨人監督 原辰徳氏の父 故・貢氏も友人でボクサー犬を買った仲。  
 陸上競技: 高校時代 短距離、やり投げ、インターハイ2回出場。東京陸協元会長でオリンピック3回出場の大車氏とは友人  
 テニス: 元デ杯選手 本井満氏のコーチでかなりの腕前(?)になるも、45歳時アキレス腱断裂でプレー終了。

過去の対談ゲストの方は、WEBでご紹介しています

パーキングプレス 対談 で検索

または <http://www.parkingpress.jp/taidan/> にアクセス

対談記事のバックナンバーもご覧いただけます。

